江戸川区立第四葛西小学校　　特別活動全体計画

校長名　　伊藤　秀一

学校の教育目標	東京都及び江戸川区教育委員会の目標を受け、人権尊重の精神を基盤とし、地域を愛する心情を育むとともに、心身共に健康で知性と感性に富む人間性豊かな児童の育成を目指す。また、生涯にわたって文化の創造・発展と豊かな社会の形成に貢献する資質や能力の育成を目指す。「豊かに育つ四葛西っ子」・元気な子・やさしい子・よく考える子・やりぬく子
特別活動の目標	望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。
目指す児童像	友達と共に、学級、学年、学校の文化を創り、発展させていく児童
特別活動の重点目標	・学級活動や児童会活動、クラブ活動、そして学校行事を通して望ましい人間関係を形成し、集団の一員として協力して、よりよい学校生活を送れるようにする。 ・学んだことを生かして、自発的・自治的に活動する場を大切にする。そこで身につけた実践力を教科学習に生かす。 ・さまざまな活動に取り組む際に、めあてをもち、その振り返りを積み重ねることで成長を確かめるとともに、課題に気づかせ、解決してよりよい生活をしようとする自主的、実践的な態度を育てる。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	学校や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
指導の方針	○楽しく豊かな学級生活づくりのために，互いに尊重しよさを認め合えるような人間関係をはぐくむために、低学年では仲良く助け合おうとする人間関係，中学年では協力し合おうとする人間関係，高学年では信頼し支え合おうとする人間関係の育成を重視する。 ○自己のよさや可能性を生かして楽しく豊かな「学級や学校の生活づくり」に参画する自発的，自治的に活動する能力を育成する。	○異年齢集団活動を通して，上学年が下学年を思いやり，下学年が上学年にあこがれをもち，仲良く，協力し，信頼し支え合おうとする人間関係を形成する。 ○集団の一員として自分の役割を果たし，協力してよりよい学校生活づくりに積極的に取り組む。○児童自身が意識して努力したり，自らが主体的に取り組んだりするなどの自主的，実践的な態度を育成する。	○学年や学級が異なる同好の児童が互いに協力し，信頼し支え合おうとする人間関係を築くことができるようにする。 ○児童の興味・関心にかかわるよさや可能性について，多様な他者との人間的な触れ合いの中で認め合うことができるようにする。	全校又は学年という大きな集団の特質をよく理解し，児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにしたり，役割を担ってその責任を果たすことができるようにしたり，共に喜びや苦労を分かち合いながら目標を成し遂げることができるようにしたりするなど，望ましい体験的な活動が展開できるようにする。
主な指導内容	(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ア学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ学級内の組織づくりや役割の自覚 ウ学校における多様な集団の生活の向上 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア基本的な生活習慣の形成 イよりよい人間関係の形成 ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成 エ食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 ア現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 イ社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	学校の全児童をもって組織する児童会において，学校生活の充実と向上を図る活動を行う。 (1) 児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営 （代表委員会、各種委員会） (2) 異年齢集団による交流 （児童集会、各種委員会、クラブ活動） (3) 学校行事への協力 （代表委員会、各種委員会） 7年度の委員会 ・代表・集会・図書・健康・運動・給食・グリーン ・放送・園芸・・新聞 計10委員会	学年や学級の所属を離れ，主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて，異年齢集団の交流を深め，共通の興味・関心を追求する活動を行うこと。 (1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表 7年度のクラブ ・イラスト・金管・和太鼓・手芸・百人一首・バスケ・バレー・バトミントン・生き物・一輪車・Tボール・サッカー・陸上・ダンス 計14クラブ	(1)儀式的行事：学校生活に有意義な変化や折り目を付け，厳粛で清新な気分を味わい，新しい生活の展開への動機付けとなるようにする。 (2)文化的行事：平素の学習の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。 (3)健康安全・体育的行事：心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。 (4)遠足・集団宿泊的行事：自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって，見聞を広め，自然や文化などに親しむとともに，よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。 ○勤労生産・奉仕的行事：勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに，ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。
他の教育活動との関連：各教科・読書科	○各教科等の指導で身に付けた言葉を的確に理解・表現する能力，互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり，これらの能力を向上させたりする。特に，学級会の進め方などの指導は，国語科の学習内容との関連を図って指導する。 ○「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは，国語科や体育科，家庭科の学習とも関連を図って指導する。	各教科で身に付けた能力などを，児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり，児童会活動で身に付けた自主的，実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かしたりできるようにする。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で，一人一人の児童の自主的な活動が促され，それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにするとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が，他の教育活動においても生かされるようにする。	○儀式的行事：学校や地域の事象について学習したことを基に、学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。 ○文化的行事：国語や音楽、図画工作などの学習の成果を発表し交流しあうことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○健康安全・体育的行事：体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得，運動に親しむ態度の育成する。 ○遠足・集団宿泊的行事：社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○勤労生産・奉仕的行事：生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ，社会奉仕の精神を養う体験を行う。
他の教育活動との関連：特別の教科　道徳	低学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲よく助け合うことを、中学年では、友達と互いに理解し信頼し助け合うこと、みんなで協力し合って楽しい学級をつくることを、高学年では、互いに信頼し，学び合い、協力し助け合うこと、身近な集団に進んで参加し，自分の役割を自覚し，協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	下学年は、わがままをしないで自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し，節度のある生活をすることを、上学年では、だれに対しても思いやりの心をもち，相手の立場に立って親切にすること、身近な集団に進んで参加し，自分の役割を自覚し，協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げること、尊敬と感謝の気持ちをもって接することを、5，6年生は、進んで新しいものを求め，工夫して生活をよりよくすること、だれに対しても思いやりの心をもち，相手の立場に立って親切にすることを重視する。	儀式的行事では、礼儀正しく真心をもって行動すること、みんなで協力し合いよりよい校風をつくること、郷土や国を愛する心をつことを、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつことを、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け，生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にすることを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。
他の教育活動との関連：外国語活動	外国語活動で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動に生かせるようにする。	外国が活動で学んだコミュニケーションの場面や働きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。	「相手との関係を円滑にする」，「事実を伝える」，「考えや意図を伝える」，「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	外国語活動で身に付けた国語や我が国の文化に対する理解を深め，世界の人々と相互の立場を尊重，協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。
他の教育活動との関連：総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた自分とのかかわりに基づく課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。	総合的な学習の時間の環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊的行事との関連や総合的な学習の時間に行われる社会とのかかわりを考える学習活動としての体験活動と勤労の尊さや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を重視する。
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために，個々の家庭の状況に配慮したり，家庭での指導との連携を図ったり，地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は，家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。	児童会活動においては，「家庭や地域の人々との連携，社会教育施設等の活用などを工夫する」ことが大切である。具体的には，児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために，家庭や地域の協力を得たり，社会教育施設等を活用したりすることである。	児童の興味・関心を基本としながら，低学年からのパソコンの授業の経験から関連付けて，外部講師等の教育力を活用したりするなど，児童の実態や特性を考慮した活動を促す。	子どもの登下校時の安全を確保するため、学校では防犯教室、交通安全教室の開催、安全マップの作成、通学路の点検、青色防犯パトロール等を実施するとともに、家庭、地域社会、ボランティア等の協力を得て交通安全指導及び防犯パトロールを推進する。
備考		・委員会活動 月1回　水曜日5校時　年10回 ・児童集会　木曜日　12:55～1:20	実施回数：年間10回 1単位時間：45分 水曜日5校時	